

一 般 質 問 通 告 書

令和5年2月2日

議 会 議 長 様

議席番号 7 番

議員氏名 大 橋 芳 久

質 問 事 項	質 問 要 旨	指 定 答 弁 者
1. 小学校における英語教育の問題点は	<p>2020年度に小学校では新学習指導要領がスタートした。その中で、小学3年生から外国語活動が開始されることとなったとともに、小学5、6年生では外国語が教科化され、成績評価がされるようになるなど、小学校における外国語教育は大きく変わった。</p> <p>その一方で、文部科学省の全国学力・学習状況調査では、小学6年生への英語の学習が好きかという問に対し、「そう思わない」「どちらかといえば、そう思わない」と答えた児童が、2013年度の調査に比べ2021年度は8ポイントも増加し、31.5%となっており、新しい英語教育には問題点があるように見受けられる。</p> <p>そこで、以下のことを中心に伺う。</p> <p>(1) 当町の小学校における英語教育の現状と問題点は。</p> <p>(2) 新学習指導要領に対する評価は。</p>	町長 副町長 教育長 学校教育課長

2月 2日 午前・午後11時40分 受理

質問事項	質問要旨	指定答弁者
<p>2. 給食費の上乗せ補助でよりおいしい給食を</p>	<p>町長は公約として、給食費の無料化を掲げている。</p> <p>私は無料化するより、よりおいしい給食を提供するために給食費の上乗せ補助をすべきではないかと、先の9月議会で提案した。</p> <p>この提案に対し、町長は、9月議会では、「(給食センター見学の際に) おいしい給食を作ってください」とお願いしてきたと、12月議会では「地産地消をすすめていきたい」と答弁された。</p> <p>しかし、それではよりおいしい給食を提供することは叶わないと考える。</p> <p>町長の公約である「無料化」と私の提案である「よりおいしい給食の提供」について、どちらが良いか保護者や児童生徒に聞いたところ、好意的な反応は圧倒的に私の提案の方が多かった。</p> <p>私は、給食費無料化に必要な財源については、こどもたちの将来を見据え、教育環境の充実に回すことこそが賢明であり、他市町村が既に実施している給食費無料化よりも「よりおいしい給食の提供」の方が、町長の掲げる「新しい杉戸への挑戦」と合致し、町としてインパクトのある施策と考える。</p> <p>そこで、「よりおいしい給食の提供」のために、給食費の上乗せ補助をすべき、と改めて質問(提案)する。</p>	<p>町長 教育長 教育次長</p>